

2003年度 CAUA活動報告

CAUA事務局 加藤牧子、滝島繁則

E-mail: caua-jim@ctc-g.co.jp

1. はじめに

本文は、CTCアカデミックユーザアソシエーション（略称：CAUA）の2003年度における活動の概要を報告するものです。

2. 総会

総会は年度に1回開催され、CAUAの活動方針・内容を決定する機関です。2003年度の総会は2003年6月6日（金）午前11時から東京都港区の明治記念館で開催されました。

総会冒頭で、総会議長に麗澤大学の大塚秀治先生が満場一致で推挙され、4議案が審議されました。

- (1) 第1号議案：2002年度活動報告
事務局より2002年度の活動内容について報告し、全会一致で承認を頂きました。
- (2) 第2号議案：2002年度会計報告
事務局より2002年度の会計報告を行い、駒沢大学の中山会計監事より、事務局報告に誤りがない旨報告があり、全会一致で承認を頂きました。
- (3) 第3号議案：2003年度活動計画及び予算
事務局より以下通り活動計画の報告を行い、全会一致で承認を頂きました。

- ① 第4回総会
2003年6月6日、東京開催
- ② CAUAシンポジウム東京
2003年6月6日、東京開催
- ③ CAUAシンポジウム京都
2003年11月、京都開催予定
- ④ 研究分科会
2003年12月12日、東京開催予定
- ⑤ 運営委員会
年度内に3回開催を予定

- ⑥ 会誌「ViewPoint 第4号」

2004年3月発行を予定。

- ⑦ ホームページ、メールマガジンの充実

(4) 第4号議案：役員人事変更

本年度の役員改選はありませんが、図書館分科会担当運営委員の長谷川豊祐氏（鶴見大学）が、校務により委員の継続が困難なため、同大学図書館の鈴木誠氏への交替につき、総会で承認を頂きました。

長谷川氏のこれまでのCAUAに対するご尽力につきまして紙面を借りまして深く感謝を申し上げます。

以上の通り、4件の議案は全て原案通り承認され、総会は無事終了しました。

3. CAUAシンポジウム2003東京

総会に引き続き、2003年6月6日の午後1時から明治記念館においてCAUAシンポジウムが開催されました。これは従来総会後に行われていた記念講演会を発展させたものです。テーマは「地域と大学をネットワークが結ぶ～『その先』にあるもの～」で、プログラムは以下の通りでした。

- 開会挨拶：金森吉成先生（群馬大学）
- 基調講演Ⅰ「地域コミュニティと大学」
林 英輔先生（麗澤大学）
- 基調講演Ⅱ「地域資料のデジタル化とNPO活動」 小林是綱先生
(NPO地域資料デジタル化研究会理事長)
- トークショウ「その先にあるもの」
 - ・ 林英輔先生
 - ・ 小林是綱先生
 - ・ 長谷川豊祐氏（鶴見大学図書館）

本シンポジウムは前運営委員の長谷川豊祐氏の企画によるもので、大学の地域貢献を主テーマとしつつ、図書館やNPOとの協調がサブテーマとなる幅広い内容でした。そのため参加者も図書館やNPO関係、マスコミ関係者など多彩でした。

参加者総数も113名に上り、またロビーでは賛助会員各社の展示・デモも行われ、大変賑やかな催しとなりました。



図1：CAUAシンポジウム2003東京の模様

4. CAUAシンポジウム2003京都

CAUAは全国展開を図るため、2001年度より東京以外でのイベントを開催しています。2003年度は大学のまち京都を会場とすることになりました。

本シンポジウムは、東京シンポジウムに引き続き大学の地域貢献が主テーマですが、大学、学校、行政の連携による地域情報化を正面から捉える内容となりました。この企画の実現は、京都大学の岡部寿男先生のご尽力によるところが大で、京都の地域情報化の第一線でご活躍されている皆様に御登壇頂くことが出来ました。

こうして「CAUAシンポジウム2003 京都」は、「地域の教育情報化と大学の役割」をテーマとし、2003年11月28日（金）に京都市二条城前の京都国際ホテルで開催されました。プログラムは以下の通りでした。

- 開会挨拶 金森吉成先生（群馬大学）
- 基調講演「地域コミュニティと大学」
林英輔先生（麗澤大学）

- 特別講演「京都におけるITを活用した大学の地域教育貢献」岡部寿男先生（京都大学）

- パネルディスカッション「地域の教育情報化と大学の役割、京都の今！」

・コーディネータ

林英輔先生（麗澤大学）

・パネリスト

岡部寿男先生（京都大学）

森木隆浩氏（京都府企画環境部）

中村好宏氏（京都市総合企画局）

藤末邦政先生（京都府立京都すばる高等学校）

本シンポジウムを通じて、京都府と京都市の連携による地域情報化のビジョンの現況と、京都大学による先端的な地域貢献の事例が紹介されました。どの内容も全国の地域情報化のモデルとなり得る非常に興味深いものでした。林英輔会長がクロージングで述べられた「地域情報化は京都に学べ」の言葉に強く共感しながら、シンポジウムは無事終了しました。参加者総数は54名で、参加者からは発表内容に対する大変高い評価を頂くことが出来ました。

京都シンポジウムに御支援頂きました京都大学の岡部先生には深くお礼を申し上げます。



図2：CAUAシンポジウム2003京都の模様

5. 第3回CAUA合同研究分科会

CAUAでは、「研究教育分科会」「センター運用分科会」「図書館分科会」の3種の研究分科会を運営しており、それぞれのテーマに沿った研究・発表活動を行っています。2002年

度の研究分科会はCAUAシンポジウムに振り替ったため、2年ぶりの研究分科会の開催となりました。

「第3回CAUA合同研究分科会」は2003年12月12日（金）、東京・四ツ谷の主婦会館で開催されました。CAUA会員を中心にした、大学の情報システム運用における具体的な事例発表が行われました。プログラムは以下の通りでした。



図3：第3回CAUA合同研究分科会の模様

- 開会挨拶 林英輔先生（麗澤大学）
- 基調講演「東京大学教育用計算機システムの更新と今後の計算機センターの在り方」
安東孝二先生（東京大学）
- 研究教育分科会
 - ・「少人数専任スタッフによる授業支援とシステム管理の現状」佐藤健先生（日本体育大学）
 - ・「海外大学との連携プロジェクトにおける諸問題と対策」内田奈津子先生（フェリス女学院大学）
- センター運用分科会
 - ・「IEEE802.1xとVLAN認証を利用した無線LANシステムの構築」林周志先生（東京大学）
 - ・「学内電子メールシステム移行時の諸問題」牧野晋先生（麗澤大学）
- 図書館分科会
 - ・「電子図書館システムの動向」大川光弘

氏（インフォコム株式会社）

- ・「アウトソーシングの現状」木俣康之氏（TRCサポート&サービス株式会社）

CAUA研究分科会は、大学における個別具体的な問題を、公式な場では言えない内容を含めて発表・討論するのが、モットーとなっています。そうした点が評価されたのか総参加者は130名を超え、CAUA史上最多の参加者数となりました。フロアからも数多くの意見や質問が活発に出て、熱気あふれる会合となりました。

6. ホームページ、メールマガジンの充実

本年度はCAUAホームページの作成・更新、メールマガジンの発行を以下の通り行いました。

(1) オンラインViewPoint

2003年3月に発行した「ViewPoint」第3号の内容をPDF化し、「オンラインViewPoint」としてCAUAホームページから閲覧可能としました。但し、「オンラインViewPoint」は主として非会員に対するCAUAの活動成果の公開を目的としていますので、閲覧に制限を付加しています。

(2) イベントレポート

2002年度に実施した以下の4件のイベントの開催レポートをCAUAホームページに掲載しました。

- ① 第4回総会
- ② CAUAシンポジウム2003 東京
- ③ CAUAシンポジウム2003 京都
- ④ 第3回CAUA合同研究分科会

CAUAのホームページは以下の通りです。ご確認ください。

(URL)<http://www.ctc-g.co.jp/~caua/>

(3) メールマガジン

電子メールを利用したメールマガジン「CAUA Academic Newsletter」を年度内

に10回 発行しました。

- ① VOL.4 NO.1 (2003年4月17日発行)
- ② VOL.4 NO.2 (2003年5月28日発行)
- ③ VOL.4 NO.3 (2003年6月25日発行)
- ④ VOL.4 NO.4 (2003年7月30日発行)
- ⑤ VOL.4 NO.5 (2003年9月26日発行)
- ⑥ VOL.4 NO.6 (2003年10月31日発行)
- ⑦ VOL.4 NO.7 (2003年11月17日発行)
- ⑧ VOL.4 NO.8 (2003年12月25日発行)
- ⑨ VOL.4 NO.9 (2004年1月28日発行)
- ⑩ VOL.4 NO.10 (2004年2月19日発行)

7. 運営委員会

本年度は以下の通り運営委員会が2回開催され、CAUAの具体的な活動内容が検討されました。但し、2003年度末に予定されていた運営委員会は2004年度早々に行われることになりました。

(1) 2003年度第1回運営委員会

① 出席役員

林英輔会長 (麗澤大学)
金森吉成運営委員長 (群馬大学)
後藤宣之運営委員 (湘南工科大学)
長谷川豊祐運営委員 (鶴見大学)

② 日時：2003年4月4日 (金) 16:00～17:30

③ 場所：CTC 新宿オフィス

④ 議題

- ・ 「ViewPoint」第3号完成報告
- ・ CAUA2002年度会計報告
- ・ CAUA2003年度活動計画討議

(2) 2003年度第2回運営委員会

① 出席役員

林英輔会長 (麗澤大学)
金森吉成運営委員長 (群馬大学)
大塚秀治運営委員 (麗澤大学)
後藤宣之運営委員 (湘南工科大学)
斎藤馨運営委員 (東京大学)
鈴木誠運営委員 (鶴見大学)
中山文法会計監事 (駒澤大学)

② 日時：2003年12月12日(金) 12:00～13:00

③ 場所：主婦会館プラザエフ

④ 議題

- ・ 「CAUAシンポジウム2003京都」報告
- ・ 2003年度上期会計報告
- ・ 第3回研究分科会の進行確認
- ・ その他

8. まとめ

2003年度は、「CAUAシンポジウム」を東京と京都で開催することが出来ました。また、前年実施できなかった研究分科会も開催することができ、バラエティに富んだ活動ができたのではないかと思います。CAUAシンポジウムのコンテンツの質の高さは前年度に勝るとも劣らないものですし、研究分科会はCAUA史上最高の集客となるなど、質的にも量的にも一層の充実があったように感じます。また積極的にコンテンツを公開することにより、CAUAホームページのアクセス数も向上し、Googleでも上位にランキングされるようになってきています。こうした活動を通じて、より多くの皆様にCAUAの存在をアピールすることできたのではないかと考えています。

事務局として本年1年間の活動を通じて痛感したことは、ネットワークはコミュニケーションであり、コミュニケーションは人と人との繋がりであるということでした。今後、CAUAが会員の皆様方に不可欠なネットワークとなれますよう、思いを改める毎日でした。

最後に、CAUA活動に多大な貢献を頂きました林英輔会長をはじめとするCAUA役員の皆様、CAUAを支えて頂いている会員の皆様、色々なご支援を頂きました賛助会員企業の皆様に、紙面をお借りして深く感謝申し上げます。